

各位

オキサリプラチン点滴静注液 50mg/100mg/200mg 「日医工」
オキサリプラチン点滴静注液 50mg/100mg/200mg 「NIG」
胃癌に対する用法及び用量追加のお知らせ

日医工株式会社並びに当社の子会社である日医工岐阜工場株式会社（本社：富山県富山市）は、オキサリプラチン点滴静注液 50mg/100mg/200mg 「日医工」及びオキサリプラチン点滴静注液 50mg/100mg/200mg 「NIG」につきまして、本日8月30日、下記の通り、胃癌に対する「用法及び用量」の追加（A法）に係る承認を取得いたしましたのでお知らせいたします。

これにより、先発医薬品と「効能又は効果」、「用法及び用量」が同一となります。

ジェネリック医薬品の普及のため、先発医薬品との「効能又は効果」、「用法及び用量」の違いを早期に解消し、患者様や医療関係者の皆様が安心してご使用いただけるよう取り組んでまいります。

記

【用法及び用量】（下線部追加）

治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌、結腸癌における術後補助療法及び胃癌にはA法又はB法を、治癒切除不能な膵癌及び小腸癌にはA法を使用する。なお、患者の状態により適宜減量する。

A法：他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはオキサリプラチンとして85mg/m²（体表面積）を1日1回静脈内に2時間で点滴投与し、少なくとも13日間休薬する。これを1サイクルとして投与を繰り返す。

B法：他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはオキサリプラチンとして130mg/m²（体表面積）を1日1回静脈内に2時間で点滴投与し、少なくとも20日間休薬する。これを1サイクルとして投与を繰り返す。

以上